

「法の日」週間 法曹三者共催企画

法曹ってどんな人? ～ 検察庁編 ～

自己紹介

質問者：今日は捜査担当のA検事と公判担当のB検事にお話をお伺いしていきます（男性・女性1名ずつ）。
それでは、まず、それぞれ自己紹介をお願いします。

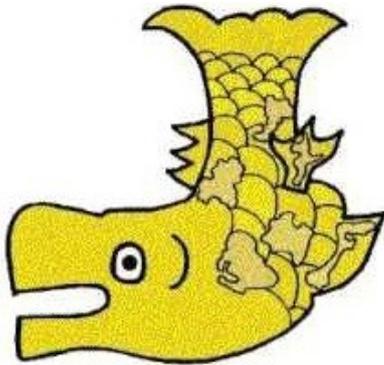
検事A：平成26年に司法試験に合格し、平成27年に検事に任官しました。

関東等の地方検察庁での勤務を経

て、平成31年4月から名古屋地方検察庁で勤務しています。

検事B：平成26年に司法試験に合格し、平成27年に検事に任官しました。

関東等の地方検察庁で勤務し、令和元年から名古屋地方検察庁で勤務しています。



名古屋高等検察庁
キャラクター
「ナーポ」

仕事内容について

質問者：現在のお仕事の内容について支障のない範囲で教えてください。

検事A：捜査を担当しています。

警察から送致された事件について、被疑者や参考人から話を聞いたり、捜査書類や証拠品を検討したり、警察に補充捜査を指示したりし、これらの結果を踏まえて、最終的な処分を検討します。

必要があれば、実際に現場に足を運ぶこともあります。

検事B：公判を担当しています。

検察官が行う公判活動とは、起訴された事件について、犯罪が成立することを様々な証拠から立証し、最終的に、被告人に対して、適正な処罰を与えるよう裁判所に求めるというものです。

ドラマなどでも描かれるように、公判活動では、事件の被害者や目撃者などに裁判所で証言をしてもらう証人尋問なども行っています。

職場の雰囲気について

質問者：検察庁は厳しいイメージがあるかと思いますが、実際の職場はどのような雰囲気ですか。

検事A：基本的には検事1人、検察事務官（別称「立会事務官」と呼びます。）1人がペアになって執務しています。

立会事務官と2人で過ごす時間が長く、仕事の話もちろんしますが、それ以外にも雑談や世間話やプライベートの話をしたりと、と

ても仲が良いです。

また、捜査で悩むことがあれば、先輩検事に相談に行ったりもしています。

検事B：職場は、複数の検察官、検察事務官が執務しており、いつでも気軽に相談をすることができます。また、自分の判断に迷ったときは、上司に気兼ねなく相談することができます。雰囲気としては、非常に良いものではないかと思います。

「法の日」週間 法曹三者共催企画

法曹ってどんな人？ ～ 検察庁編 ～

法曹を志した理由

質問者：検察官又は法曹を目指したきっかけはありますか。

検事A：中学生の頃、日々、重大犯罪のニュース等を目にする中で、「悪いことをしたらきちんとそれに見合った罰を受けさせないと、被害者が報われず、かわいそうだ」と感じたのが最初のきっかけでした。

その後、自分の将来を考える中で検察官という職業を知り、検察官を目指すようになりました。

検事B：私の父親が警察官だったのですが、父から、「検察官はすごい人たちだぞ。」などと聞かされており、また、私自身、テレビで法律問題を題材にした番組を観るのが好きだったので、いつの間にか検察官を志していました。



検察官の仕事について

質問者：検察官の仕事をしてきた中で、大変だったことがあれば教えてください。

検事A：被疑者の身柄を拘束している場合、事件が送致されてから最大で20日間しか身柄拘束できないため、基本的にはその間に処分を決めなければならず、身柄事件を多数抱えているときはスケジュール調整に苦労してしまいます。

また、被疑者が外国人の場合には通訳を介して取り調べることになるため、取調べ時間が日本人の倍以上かかりますし、文化の違いもあり、どういう聞き方をすれば必要なことを聞き出せるのか、試行錯誤を重ねながら取調べをしています。

検事B：事件の被害者の中には、心に深い傷を負ってしまい、被害当時の状況を話すことがなかなかできないという方や、幼い子供などもお

り、そのような方々に対して、裁判の場で証言をしてもらうことはとても難しく、大変なものです。

しかし、そのような被害者や目撃者などの方々のご協力もあり、最終的に適正な処罰が下されたとき、被害者やそのご家族などから「ありがとうございました。」と言ってもらえたときは、やりがいを感じます。

質問者：A検事が仕事にやりがいを感じたことはありますか。

検事A：決して楽な仕事ではありませんが、やはり、争いのある事件の判決で検察官の主張どおりの事実が認められたり、判決後、被害者から「ありがとうございました。」と言ってもらえたときは、頑張って良かったなと思います。

名古屋地方検察庁
キャラクター
こあろう
「鯨あ郎」

「法の日」週間 法曹三者共催企画

法曹ってどんな人? ～ 検察庁編 ～

検察官のバッジについて



検察官のバッジ

質問者：検察官が付けられているバッジについて何か意味はあるのでしょうか。

検事AB：検察官のバッジの形は、紅色の旭日に菊の白い花びらと金色の葉があしらわれています。

また、その形が霜と日差しの組合しゅうそうれつじつせに似ているので「秋霜烈日」

のバッジと呼ばれることもあります。

「秋霜」とは秋に降りる霜、「烈日」とは夏の厳しい日差しのことしろうで、刑罰の志操の厳しさに例えられています。

検察庁のキャラクターについて

質問者：金のしゃちほこやコアラのキャラクターのイラストが掲載されていますが、これらのキャラクターについて教えてください。

検事AB：まず、名古屋高等検察庁のキャラクターである「ナーポ」についてお話しします。

「ナーポ」は、名古屋のシンボルである名古屋城の金のしゃちほこをイメージしており、そのうろこには東海・北陸6県が形取られたものがあります。

どのうろこがどの県の形か分かりますか。

質問者：確かに愛知県や岐阜県の形をしたうろこがありますね。

検事AB：このうろこには名古屋高等検察庁とその管内の6地方検察庁が一体となるという意味が込められています。

また、「ナーポ」という名前ですが、名古屋高等検察庁の英訳である「Nagoya High Public Prosecutors Office」の頭文字から名付けられています。

質問者：そのような意味があったんですね。

それでは、名古屋地方検察庁のキャラクターである「鯨こあろうあ郎」についても教えてください。

検事AB：名古屋市の東山動物園にはコアラが飼育されており、コアラは名古屋のイメージにもなっています。

「鯨あ郎」は、そのコアラが金のしゃちほこの着ぐるみを着ているキャラクターになります。

「鯨あ郎」という名前には、検察庁と関わりの深い刑法・刑事訴訟法・裁判員法など司法の核となる法律「Core(コア) Law(ロウ)」という意味も込められています。

「鯨あ郎」が抱えているのは六法全書なんですよ。

質問者：なるほどよく分かりました。

本日はお忙しいところありがとうございました。